

¥

¥

税込
(税抜)

CODE : A400411BL
TYPE : PMSP81.A

《警告表示》

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったりケガをしたり製品が壊れるなどのおそれがあります。



この表示の欄は取扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が懸念される」内容です。



この表示の欄は取扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。

注意事項



- お客様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの説明書をお読みください。読まれた後は大切に保管してください。
- ポンプの改造、分解、ペイントは絶対にしないでください。ポンプに穴をあけたり、削ったり、改造したりすると非常に危険です。また塗料や熱の影響により材質が侵され性能が低下するおそれがありますので、絶対にしないでください。
- 使用前に次の点検をしてください。
 1. 握り(グリップ)やフートステップに亀裂や変形がないこと。
 2. シリンダ本体とシリンダキャップとの固定が確実で、緩みがないこと。
 3. シリンダ本体と台座の固定が確実で、緩みがないこと。

- シリンダキャップや握り(グリップ)を外したり、分解しないでください。使用中に破損するおそれがあります。
- 損傷、変形、緩み等の異常がある場合はすぐに使用を中止してください。少しでも異常を感じた場合は使用を中止し、ご購入いただいた販売店またはお客様相談室にご相談ください。
- ご使用は平らな場所で行ってください。
- ご使用の際にタイヤに空気が入らなくなった場合は、無理に空気を入れず直ちに使用を中止してください。ポンプ内が高圧になって破裂等のおそれがあります。異常がある場合は、販売店またはお客様相談室にご相談ください。
- 直射日光が当たる場所に放置したり、雨ざらしにしないでください。劣化しやすくなります。
- ゴム・樹脂部品は経年劣化により変色・変形・破損が生じる場合があります。異常がある場合は直ちに使用を中止してください。
- 空気圧はタイヤの指定空気圧に従ってください。
- 空気圧ゲージの万一の故障も考慮し、過大な空気圧が充てんされることを防ぐために、タイヤを手で押すなどして適正な空気圧であることを確認してください。
- 空気圧ゲージに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 火気の近くや高温になる場所に置かないでください。
- 小さな部品がございますので、お子様が誤って飲み込まないようにご注意ください。

《フレームポンプ取扱説明書》

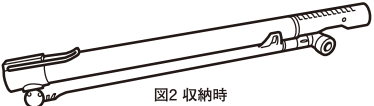
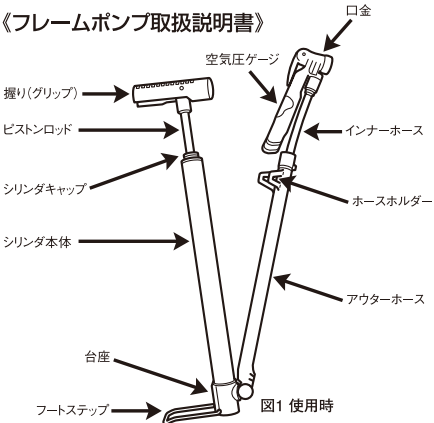
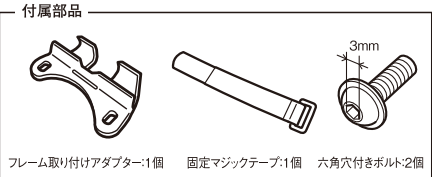


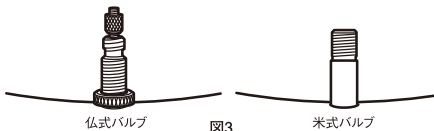
図2 収納時



フレーム取り付けアダプター:1個 固定マジックテープ:1個 六角穴付きボルト:2個

【1】バルブの種類

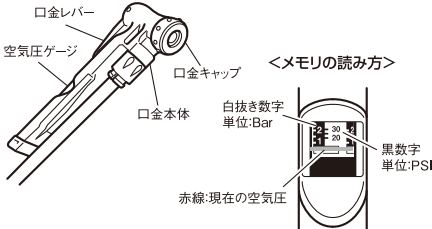
このポンプは以下のバルブに対応できます。



仏式バルブ

図3

米式バルブ



＜メモリの読み方＞

赤線:現在の空気圧

【2】空気の入れ方

◆仏式バルブのタイヤ・チューブに空気を入れる場合

- 1 タイヤ・チューブの仏式バルブの前準備(コア引き上げネジを2〜3回転ゆるめて、先端を一瞬押し、わずかに空気を抜く)をしておく。(図5)
 - 2 口金キャップを外し、中のパッキンと樹脂パーツを「図6」の通りの向きにして口金に入れた後、口金キャップを閉める。(図6)
 - 3 口金をタイヤ・チューブのバルブにしっかりと差し込む。(図7)
 - 4 口金レバーを立てる。(図8)(口金の内部のパーツが締まる)
 - 5 口金とバルブがしっかりと接続されていることを確認し、空気を入れる。
 - 6 空気を入れ終わったら、口金レバーを倒す。(図7)(内部のパッキンが開く)
 - 7 バルブから口金を外す。
- 注意 レバーを倒さずにバルブから口金を外すと、口金内部のパッキンが摩耗して傷み、しっかりと固定できなくなります。

◆米式バルブのタイヤ・チューブに空気を入れる場合

- 1 口金キャップを外し、中のパッキンと樹脂パーツを「図9」の通りの向きにして口金に入れた後、口金キャップを閉める。(図9)
 - 2 口金をタイヤ・チューブのバルブにしっかりと差し込む。(図10)
 - 3 口金レバーを立てる。(図11)(口金の内部のパーツが締まる)
 - 4 口金とバルブがしっかりと接続されていることを確認し、空気を入れる。
 - 5 空気を入れ終わったら、口金レバーを倒す。(図10)(内部のパッキンが開く)
 - 6 バルブから口金を外す。
- 注意 レバーを倒さずにバルブから口金を外すと、口金内部のパッキンが摩耗して傷み、しっかりと固定できなくなります。

【3】自転車に取り付ける場合

- 1 アウターホースについている空気圧ゲージガイドに沿わせて空気圧ゲージを収納する。
- 2 フレーム取り付けアダプターにある隙間に固定マジックテープを通す。(固定マジックテープの裏面が上になる)
- 3 ポンプのシリンダ本体部をフレーム取り付けアダプターに取り付ける。

- 4 シリンダ本体を巻くようにして、固定マジックテープのバックルに通す。
- 5 ホースホルダーとシリンダ本体を固定し、固定マジックテープでアウターホースと一緒に固定する。
- 6 付属の六角ボルトを使用し、下パイプにあるボルト台座に取り付ける。

販売元 **ブリヂストンサイクル株式会社**

〒362-8520 埼玉県上尾市中裏3丁目1-1

お客様相談室 受付時間:月〜土(日・祝日および指定休日を除く)

9:00〜19:00

電話: ☎ 0120-72-1911, FAX: 048-772-5316

(国際電話・インターネット電話でのご利用はできません。)

SGマークは製品安全協会が定めるSG基準に適合するものとして認証された製品に表示される安全・安心マークです。SGマーク付き製品の欠陥により人身事故が発生したときは賠償措置が講じられます。詳しくは製品安全協会へお問い合わせください。

made in TAIWAN



自転車に取り付けて走行する場合、乗車前にポンプと固定アダプター及び固定アダプターとボルト台座がしっかりと固定されているか必ず点検してください。走行中に外れると事故を起こすおそれがあります。



4 977716 066322



紙:台紙

A400411